



Title	彙報
Author(s)	
Citation	懐德. 1978, 48, p. 59-60
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/90570">https://hdl.handle.net/11094/90570</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 彙報

## (懷德堂記念会)

○記念祭典 昭和五十二年十月二十二日(土) 大阪大学松下会館四階講堂に於て、午後一時二十分より祭典執行。終つて大阪大學教授黒田俊雄氏の「神道の世俗性と宗教性」と題する記念講演があった。

大學教授黒田俊雄氏の「神道の世俗性と宗教性」と題する記念講演があつた。  
○秋季講座 昭和五十二年十月三十一日より十一月五日まで、本會及び大阪大学文学部主催、朝日新聞社後援で、大阪大学松下会館四階講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、第五十六回懷德堂講座開講。聽講者延べ百七十四人。

### 演題と講師

荀子の解釈について

を楽しんだ。

昭和五十三年四月二十九日、福井県小浜市の明通寺・妙楽寺・多田寺・羽賀寺・若狭彦神社への一日見学会を催し、宇野茂樹先生の御懇切な御指導の下に極めて有益な見学をなす。参加四十四名。

七月二十二日から二十三日にかけての一泊見学会をなす。

第一日は湖東の龍王寺、苗村神社、石塔寺、百濟寺で、泊りは百濟寺町の近江温泉で気持よく汗を流す。

第二日は金剛輪寺、押立神社、善明寺を拝観して非常に愉快で且つ有益、矢張講師は宇野茂樹先生である。参加者は二十名余。

八月二十一日から二十六日までの六夜、大阪市内の住友さんの茶園山道場で、会長木村英一先生による第六回目の夏季古典講座としての論語の講義があり、今回で首尾良く全書を読了した。聽講者延べ約七十名余り、相変わらずの行き届いたお話で御纏著を傾けられての講義であった。最終日の茶話会の席上で来夏からの計画についてお話し合いをさせて頂いた事でした。

此の一ヶ年間に昨秋から今夏にかけて左の四名の方が物故せられました。謹んで哀悼の意を表します。岩淵賢治、熊谷悦雄、大路とし子、西田幾太郎（以上四名様敬称略）次に本会の為めに多大の寄附を賜つた方に対して謹んで厚くお礼を申し上げます。木村会長、同千萬子、中川幸三、山口正男、沢美枝、斎藤フサ子（以上六名様敬称略）

新入会の方 木村千万子、徳永寿美子、藤田節子、井村容子、

中川進、角井武三、藤原一郎、森凱春、尾嶋喜代蔵、野沢喜与蔵、早川愛寿、黒坂満、坂出祥伸、森岡善一、山口芳一、竹原実、稻田五月子、松本清子、遠藤桂子、浅井龍、加藤正夫、中橋久馬（以上二十二名様敬称略）

退会の方 久島勉、細川誠三（以上二名様敬称略）

住所不明の方 浜田満次郎、小林永典、小林和彦（以上三名様敬称略）

（中島記）